

2019年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	047								
事務事業名	予防接種事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決っていない		予算科目	区分	一般会計	款	04	項	04	目	04	事業	01
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課		担当係														
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)																		
根拠法令及び市条例等 <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 予防接種法・同施行令・同施行規則・定期予防接種実施要項) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称: 常総市高齢者肺炎球菌予防接種助成金交付要綱・常総市小児インフルエンザ予防接種助成金交付要綱・常総市おたふくかぜ予防接種助成金交付要綱)																			

2 事務事業の目的		当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																	
現状課題	大多数は適切な接種時期に望ましい間隔で予防接種を受けているが、中には接種を忘れていたり予防接種の意義をよく理解しておらず実施していなかったりする場合がある。予防接種の必要性について更に周知し、受けやすい体制を整えていく必要がある。	誰・何を対象に 定期予防接種の対象者、一部公費負担を行っている任意予防接種対象者																	望ましい状態 各種予防接種の実施により、市民の感染症の発生や蔓延を予防し、健康を維持する。
	どのよう な方法・ 手順で 医療機関での個別接種。努力義務のある定期予防接種(A類)は、全額公費負担。個人予防に重点を置いた高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌(B類)は一部自己負担がある。任意予防接種のおたふくかぜ、小児インフルエンザ、定期以外の高齢者肺炎球菌については費用の一部を公費負担する制度を設けている。周知には広報、ホームページ、全戸配布チラシ、出生時に小冊子配布、幼児・児童・生徒にはチラシやはがきの送付を行っている。																		

3 事務事業の主たる成果指標		数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。																						
指標名	定期予防接種接種率(麻しん風しん混合1期2期)	単位	%	目標値	100	目標年次	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)											予防接種者数/目標とする接種者数×100					

4 事務事業の実績		当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																	
年度	2016年度				2017年度				2018年度										
	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量				
事務事業を構成する主な業務	①	小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎)		①		小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎)		①		小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎)		①		小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎)					
	②	小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ)		②		小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ)		②		小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ)		②		小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ)					
	③	高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ)		③		高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ)		③		高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ)		③		高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ)					
	④	高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌)		④		高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌)		④		高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌)		④		高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌)					
	⑤	各種予防接種記録のシステム入力		⑤		各種予防接種記録のシステム入力		⑤		各種予防接種記録のシステム入力		⑤		各種予防接種記録のシステム入力					
	⑥	県医師会・協力医療機関との契約		⑥		県医師会・協力医療機関との契約		⑥		県医師会・協力医療機関との契約		⑥		県医師会・協力医療機関との契約					
	⑦	予診票作成・交付事務		⑦		予診票作成・交付事務		⑦		予診票作成・交付事務		⑦		予診票作成・交付事務					
	⑧	全戸配布チラシ・個別通知の作成		⑧		全戸配布チラシ・個別通知の作成		⑧		全戸配布チラシ・個別通知の作成		⑧		全戸配布チラシ・個別通知の作成					
	⑨	予防接種費用支払い事務(医療機関)		⑨		予防接種費用支払い事務(医療機関)		⑨		予防接種費用支払い事務(医療機関)		⑨		予防接種費用支払い事務(医療機関)					
	⑩	予防接種費用支払い事務(償還払い)		⑩		予防接種費用支払い事務(償還払い)		⑩		予防接種費用支払い事務(償還払い)		⑩		予防接種費用支払い事務(償還払い)					
	⑪	目標値に対する実績値		93 %		目標値に対する実績値		94 %		目標値に対する実績値		95 %		目標値に対する実績値					
	決算額	計	129,613,029 円	内訳	特定財源 0 円	一般財源 129,613,029 円	計	123,720,339 円	内訳	特定財源 0 円	一般財源 123,720,339 円	計	125,113,268 円	内訳	特定財源 4,155,401 円	一般財源 120,957,867 円			
		(住民一人あたりの行政コスト)		2,131 円		(住民一人あたりの行政コスト)		2,046 円		(住民一人あたりの行政コスト)		2,085 円							

5 担当者評価		実施したことによる成果や問題点を記入してください。																	
成果	目標未達成	成果指標の目標値に達することはできていないが、全国的に麻しん・風しんの罹患率が今年度において、当市での発生がなかったことは、予防接種接種率が維持できているためと考えられる。引き続き、他の予防接種においても接種率の向上につながるよう、乳児健診や相談・教室の機会を利用して啓発に努めていく必要がある。																	
	問題点	小児の予防接種については、出生時に予診票を交付しているが、高齢者インフルエンザ予防接種を市外で受ける際、「住所外接種券」の交付を窓口申請しなければならず、交通弱者の市民からは不便との声が上がっている。また、ロタウイルス予防接種は県内半数の市町村が助成を行っており、接種を希望する市民も増えているが、当市では助成がなく子育て世代の経済的負担が大きい。																	

6 担当部長及び担当課長評価		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。																	
事務事業の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由		感染症予防又は重症化を防止し、まん延を予防するとともに、市民の健康の保持及び増進を図ることを目的としており、事業の継続は必要である。また、近隣市の動向を踏まえ任意予防接種費用助成対象拡大の検討も必要である。																	

7 実施計画		今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。																	
年度	2019年度				2020年度				2021年度										
	事業内容				●小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎) ●小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ) ●高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ) ●高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌) ●各種予防接種記録のシステム入力 ●県医師会・協力医療機関との契約 ●予診票作成・交付事務 ●全戸配布チラシ・個別通知の作成 ●予防接種費用支払い事務(医療機関) ●予防接種費用支払い事務(償還払い) ●高齢者インフルエンザ予防接種予診票を郵送(前年度接種者及び新規希望者@82円×9,000人分) ●任意インフルエンザ予防接種助成を1回1,000円から2,000円に増額 ●風しん抗体検査・予防接種費用助成 ・昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対し、風しん抗体検査・予防接種費用を助成する。 ●再予防接種費用全額助成 ・医療行為により、過去の予防接種の効果が期待できないと診断された20歳未満の市民に、再予防接種費用を全額助成する		●小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎) ●小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ) ●高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ) ●高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌) ●各種予防接種記録のシステム入力 ●県医師会・協力医療機関との契約 ●予診票作成・交付事務 ●全戸配布チラシ・個別通知の作成 ●予防接種費用支払い事務(医療機関) ●予防接種費用支払い事務(償還払い) ●高齢者インフルエンザ予防接種予診票を郵送(前年度接種者及び新規希望者@82円×9,000人分) ●任意インフルエンザ予防接種助成を1回1,000円から2,000円に増額 ●風しん抗体検査・予防接種費用助成 ・昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対し、風しん抗体検査・予防接種費用を助成する。 ●再予防接種費用全額助成 ・医療行為により、過去の予防接種の効果が期待できないと診断された20歳未満の市民に、再予防接種費用を全額助成する		●小児定期予防接種(BCG・麻しん風しん混合・水痘・四種混合・日本脳炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・不活化ポリオ・二種混合・B型肝炎) ●小児任意予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ) ●高齢者定期予防接種(高齢者肺炎球菌・インフルエンザ) ●高齢者任意予防接種(高齢者肺炎球菌) ●各種予防接種記録のシステム入力 ●県医師会・協力医療機関との契約 ●予診票作成・交付事務 ●全戸配布チラシ・個別通知の作成 ●予防接種費用支払い事務(医療機関) ●予防接種費用支払い事務(償還払い) ●高齢者インフルエンザ予防接種予診票を郵送(前年度接種者及び新規希望者@82円×9,000人分) ●任意インフルエンザ予防接種助成を1回1,000円から2,000円に増額 ●風しん抗体検査・予防接種費用助成 ・昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対し、風しん抗体検査・予防接種費用を助成する。 ●再予防接種費用全額助成 ・医療行為により、過去の予防接種の効果が期待できないと診断された20歳未満の市民に、再予防接種費用を全額助成する										
成果指標	指標名	定期予防接種接種率(麻しん風しん混合1期2期)	単位	%	目標値	96	指標名	定期予防接種接種率(麻しん風しん混合1期2期)	単位	%	目標値	96	指標名	定期予防接種接種率(麻しん風しん混合1期2期)	単位	%	目標値	97	
	予算額	歳出	計	131,952 千円		歳出	計	147,280 千円		歳出	計	147,280 千円		歳入	計	147,280 千円			
		特定財源		4,000 千円		特定財源		0 千円		特定財源		0 千円		一般財源		147,280 千円			
		一般財源		131,952 千円		一般財源		147,280 千円		一般財源		147,280 千円		計		147,280 千円			
		計		135,952 千円		計		147,280 千円		計		147,280 千円							

8 財務アドバイザーの見解		『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。																	
---------------	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見		担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。感染症予防、重症化防止に重点を置き、事業を継続していく必要があると考える。また、かかってしまつては遅い風疹抗体検査をするようPRをお願いしたい。																	
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10 最終評価(行政改革推進本部)		事務事業の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止																	
評価理由		感染症の予防又は重症化を防止し、まん延を予防することは、弱者である小児及び高齢者の命を守ることも、最終的には医療費の削減にもつながる。しかし、部課長評価にある任意予防接種費用助成拡大については、近隣の動向で検討するのではなく、費用対効果を念頭に入れ、導入の検討をすべきである。																	

11 事務事業の改善理由及び改善部分		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。																	
事業内容																			